

開催月日	名 称	開 催 地	会誌巻号または世話人
2016年 3/19~22 9/13~16 9/21~24	日本物理学会第71回年次大会(東北学院大学) 日本物理学会2016年秋季大会(金沢大学)(物性) 日本物理学会2016年秋季大会(宮崎大学)(素核宇)	仙台市 金沢市 宮崎市	日本物理学会 日本物理学会 日本物理学会

編集後記

私は、今年4月からおよそ20年ぶりに会誌編集委員に「返り咲き」しました。20年前の編集委員としての思い出はあまり良いものではありませんでしたので、今回編集委員の依頼が来た時には少し気持ちが重くなりました。編集委員会で解説記事を提案すると、「この研究の何がおもしろいかわからない」「そんなことがなぜ重要なのか全くわからない」と他分野の委員らに散々いじめられ、あげくのはてには提案が却下されるという20年前の経験がトラウマになっていますので、なんとも気乗りがしなかったのですが、諸事情のためやむなく編集委員をお引き受けしました。

4月以降、編集委員会に何度か出席してわかったことは、20年前に経験した上述のような「厳格な」議論の伝統は今だ健在だということです。まるでオリジナル論文の採否を決めるような「厳格な」議論の末に、執筆してもらった解説記事と執筆者が決まってくる。今は逆に、このような厳しいプロセスを経ているからこそ物理学会誌のクォリティが保たれているのだと考えるようにしています。

しかし、それゆえ、いきおい難しい記事が多いという意見も、20年前も今も変わらないようです。天下の物理学会誌なので恥ずかしい解説は書けない、と肩に力が入っ

てしまう著者が多く、記事を提案する編集委員としても「厳格」な審査に耐えられる執筆者と高質な物理ネタの記事を提案しないといけないというプレッシャーのようなものがたらいて、その結果、難しい記事ができあがっていくのだろうと勝手に想像しています。

その一方で、最近、編集委員会では「身近な物理」シリーズを立ち上げようと、加藤岳生先生らが中心になって準備が始まりました。最先端の研究の解説記事ばかりでは息が詰まりそう、あるいは読む記事がほとんどない、と感じる読者は多いと思いますが、「身近な物理」の記事でホッと一息つけば会誌の印象もかなり柔らかくなるのでは、と期待しています。加藤先生によると、「身近な物理」を面白がるのは寺田寅彦から始まる日本の伝統ではないかとのことですが、私も同感で、このシリーズにとっても期待しています。専門分野に関わらず面白さが理解でき、しかもブルーバックと違ってきっちりとした物理を語っていて、「物理の教養」が養われる「身近な物理」シリーズの記事が継続して掲載されてほしいと願っています。

教養と専門といえば、最近いろいろな場面を取りざたされています。卒業したら大学や大学院での専門と関係の薄い職種に就職する学生が多いのは、私の研究室の卒業生を見てもよくわかりますが、とくに、卒

業してから10年以上経って会う卒業生を見ていると、結局、彼らの人生に重要なのは物理の専門的な知識や技能ではなく、よく言われる「人間力」のようなタフさと教養力のようなものだと感じるときが多々あります。現在、私が所属している大学では学部教育の総合改革と銘打っている新しい試みをやろうとしています。そのなかで、「専門課程のなかでの教養教育」という項目があります。具体的には何をどうするのかわかりませんが、上述した「人間力」の涵養のような教育に学部後期課程で力を入れるようです。

ひるがえって会誌も、何かそのような方向に少し舵を切ってもいいのかもしれませんが、物理の専門家が読む会誌の使命として、それぞれの分野の最先端の情報を提供するとともに、物理屋の「人間力」「教養力」を養うような記事をもっと増やしてもいいのかもしれませんが、自分の専門の物理だけでなく、よく目にする自然現象などに関してしっかりと物理を語れる「教養力」が弱くなっているような気がします。「身近な物理」シリーズはそういった意味で重要になるかもしれません。私は大いに期待しますし、読者の皆様もご期待ください。

長谷川修司

<shuji@surface.phys.u-tokyo.ac.jp>

日本物理学会誌 第69巻 第11号 (平成26年11月5日発行) 通巻782号

©日本物理学会 2014

Butsuri

発行者 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-22 湯島アーバンビル 8F

白 勢 祐 次 郎

印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8

株式会社 国 際 文 献 社

発行所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-22 湯島アーバンビル 8F

一般社団法人 日 本 物 理 学 会

電話 03-3816-6201 Fax 03-3816-6208

郵便振替 00120-4-167544 定価 1部2,400円 年額25,000円

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人日本物理学会が所有しています。